

2024年10月2日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ  
株式会社三菱 UFJ 銀行

## アジア・トランジション・ファイナンス・スタディ・グループの年次報告書の公表について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 かめざわ ひろのり 亀澤 宏規、以下 MUFJ）の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、当行が参加するアジア・トランジション・ファイナンス・スタディ・グループ（以下 ATF SG）が、本日、「ATF SG 年次報告書 2024」を公表したことをお知らせいたします。

### 1. ATF SGについて

ATF SG は、アジア経済がネットゼロエミッションに向かう上での、トランジション・ファイナンス（以下 TF）が果たす重要な役割およびアジア経済が直面する課題を踏まえ、民間金融機関が主導し、2021年に設立されました。ATF SG では、金融機関が TF の事例を検討および評価する際の国際基準や、タクソノミーを含む既存のフレームワークを補完する実用的な推奨事項を作成するとともに、TF の推進に係る課題を理解し、潜在的な解決策を探求することを目標としています。

当行は、2021年度から2023年度において初代リード行として ATF SG の事務局を支援し、TF に関わる議論と活動を牽引してまいりました。2022年の年次報告書では、公的機関などに提言した TF を加速するための7つの支援策や1年間の進捗を報告しました。また、翌年2023年の年次報告書では、TF 推進に向けた3つの要素として、セクターや国毎のトランジションに向けたパスウェイやロードマップの他、リスク低減策の導入によるトランジション案件の経済性確保の必要性や、中小企業向けの個別取組などを提示しています。これらの調査結果は、アジアグリーン成長パートナーシップ閣僚会合（AGGPM）を含む複数の国際会議で紹介・言及されています。

### 2. 「ATF SG年次報告書2024」について

「ATF SG 年次報告書 2024」は、商業銀行を中心とするメンバーによる数ヶ月の議論を経て作成され、また開発銀行、輸出信用機関、公的機関、金融関連の業界団体などに加え、エネルギー、産業、保険・保証分野の関係者やアドバイザーなどもゲストスピーカーとして参加し、それぞれの立場から意見を交わした結果をまとめています。

ATF SG 年次報告書 2024 では、2023年の年次報告書で挙げられた3つの要素のうち、リスク低減策について特に焦点を当てています。官民協力によりリスクを軽減・分散することで、トランジションプロジェクトが実現可能かつ投資価値のあるものになることを示しています。これは、以前より指摘されている観点であり、金融機関がプロジェクトに取り組む際に極めて重要な点です。ATF SG は、プロジェクトの主要なリスクを理解し、官民双方が各リスクへの対処方法を把握することで、すべての関係者間の協力がさらに円滑になると考えています。

今後も ATF SG は、公的機関およびトランジション・ファイナンス受益者との連携を通じて、実務者としての経験から得た必要な支援要素に関する金融機関の見解や、ピアラーニングを通して得たトランジション・ファイナンスに関する各種ガイドライン、各国のタクソノミーを含む政策、

トランジション・ファイナンス事例についての深い理解と実践的知識の共有に取り組んでまいります。

ATF SG 年次報告書 2024 :

<https://www.atfsg.org/report/asia-transition-finance-study-group-atf-sg-annual-report-2024>

当行は、今後も ATF SG の活動を通じて幅広い関係者と連携しながら、金融機関の TF 推進に係る実務知見の探求に努めます。また、ATF SG の活動によって得られた知見やネットワークを活用し、アジアの現実的かつ段階的なエネルギー・トランジションの実現に向け、貢献してまいります。

[1] Asia Transaction Financeについてや過去の報告書などは、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.atfsg.org/>

以 上